

2020年6月29日

上田高等学校同窓会
各期代表代議員 各位

上田高等学校創立120周年記念事業実行委員長 日置 勇二
長野県上田高等学校同窓会理事長 金子 元昭

上田藩主居館跡、濠しゅんせつ工事完了のご報告

拝啓 120周年記念事業については、各期代表代議員の皆様をはじめ委員の方々には大変なご尽力を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、このたび、かねてより懸案だった上田藩主居館跡の濠のしゅんせつ工事が完了しました。間もなく届く、会報「古城の門」でも述べさせていただきますが、経緯などを含めて以下のとおりご報告申しあげます。

上田高等学校同窓会は、一昨年、母校の創立120周年を記念する事業の企画を始めるにあたり、学校側に希望する提案を募ったところ、施設充実への要望とともに、喫緊の大きな課題として、「濠の環境改善」がありました。水源井戸ポンプの故障、濠南端部からの漏水、積年の落ち葉による汚泥の堆積などで、景観や環境の悪化(悪臭、蚊の発生など)を生じているというのがその理由でした。これについては同窓会の役員や会員から、「県の所有物である濠の改修に、同窓会がなぜ費用を負担するのか」との疑問の声も数多くありましたが、「やはり濠の現状は極めて深刻であり、同窓会としては、これ以上は放置できない」と判断し、創立120周年記念事業の一環として、「濠の環境改善」に取り組むことを正式に決定しました。

まずは長野県教育委員会と上田市教育委員会から工事の認可を得た上で、水源井戸ポンプの交換、水漏れ防止工事を昨年12月に完了しました。漏水防止工事については濠南端部分を取り囲むように24か所のボーリングを行い、コンクリートミルクを流し込んで土中に擁壁を作りました。並行して濠の水を排出しながら、2月にははいよいよ濠のしゅんせつと汚泥の搬出作業に着手しました。

しかしながら、現場では汚泥が液状化しているため、重機やトラックで搬出するには、事前に水分を十分に抜く作業が必須でしたが、これは専門業者にとっても困難を極めるものでした。最終的には、一旦、汚泥をトンバッグ(大きな土囊)に詰め、しっかり水分を抜いた上で搬出するという人手は要するが環境に優しい工法で切り抜けました。その間、卒業式と入学式の時期は一旦工事を休止しましたが、5月初旬には工事を終えました。ポンプ設置費用・堀南端の漏水防止工事を含め、総工費は約2,000万円でした。

あらためて振り返ると、このような重要かつ特殊な史跡補修工事を、何ら専門知識を持たない同窓会が責任者として直接担当することは、かなり荷の重いものであることを強く認識しました。

工事終了直後より井戸から24時間給水し、降雨にも恵まれたこともあって、濠の水はオーバーフロー水位まで上昇しました。このため、濠自体が流水路となって浄化が一段と進み、場所によっては濠の底が見えるほどきれいになりました。濠は往時の景観を取り戻しつつあり、ご近所の方から「何年かぶりに水が溜まっている濠を見ましたが、本当に濠らしくていいですね」という声が聞かれました。また、以前は多く寄せられていた苦情も上田高校に届かなくなったとのことです。なお、この場所は観光客も頻繁に訪れる史跡ですので、今後は濠の「周辺」についても常に美観に注意を払う必要があります。

また、すでに校門をはじめ、他の文化財においても、近い将来に大きな改修が必要となる可能性が高まっています。仮に今後、学校から今回のような改修の要請があっても、残念ながら同窓会が直接実行することは、上述のとおり、専門知識や費用負担の観点から事実上、不可能です。

このような状況のもと、2020年3月23日には、上田高校敷地内の歴史的遺産の維持・管理について、長野県・上田市・上田高校の担当者による意見交換会が開かれ、課題解決に向けて大きな一歩を踏み出しました。これらの貴重な文化遺産は長野県の所有物ではありますが、長野県、上田市、学校の三者が共同で、長期的視点に立って、次代に引き継げる体制を構築していただくことを、この度再度関係機関にお願いいたしました。

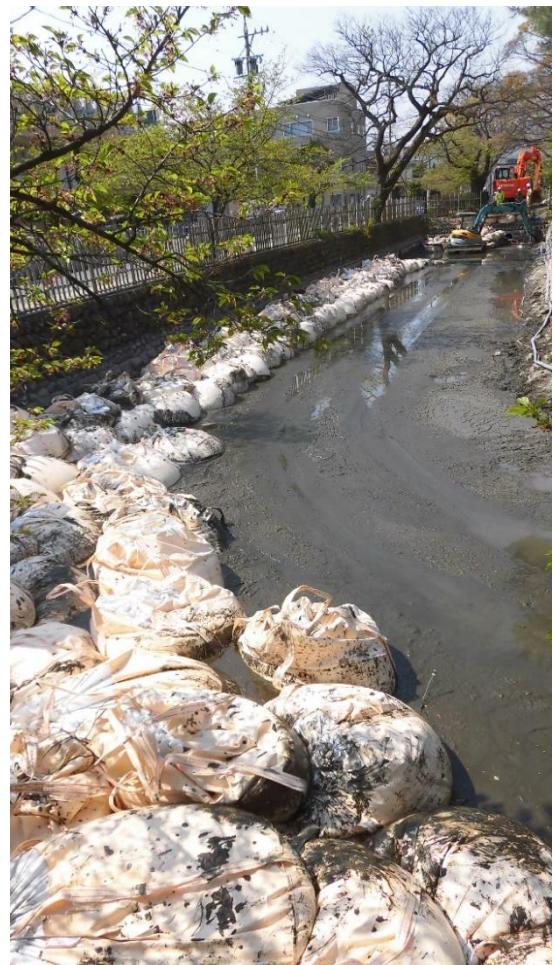
代表代議員の皆様にはこれまでの経緯をご承知おき頂きたく、以上ご報告申し上げます。

敬具

しゅんせつ前、汚泥が堆積している濠（2019年5月）



トンバッグ（大型土嚢）を使い、周りを汚染させぬよう汚泥の水分をしっかりと抜いたうえで搬出。



搬出されたトンバッグの総数は500を超えました。

濠しゅんせつ工事完了、水が溜まりつつある。 (2020年5月下旬)



「昭和55年 秋の濠」



80周年記念事業で行われたしゅんせつ後の堀と白鳥の写真

元上田高校物理教諭 坂口浩先生ご寄贈



オーバーフローが始まった2020年6/15のお濠。

※ 現在は、さらに水が浄化されています。